

背景

激しい国際競争の中我が国のイノベーション創出を加速させるためには、分野や業種を超えた知の融合を支援する環境の構築が不可欠

目的

我が国の研究開発活動をサポートし、分野や業種を超えた知の融合、産学官連携を触発するため、研究開発活動や知的財産戦略(知的財産推進計画2008)に不可欠な基本的な科学技術情報を体系的に収集・整備、蓄積し、それを基に、インターネット上に散在する様々な科学技術情報を連携するシステムを構築し、我が国のイノベーション創出を加速させる。

概要

基本情報の整備

研究者、研究機関、研究成果(論文、特許)、知財辞書等の基本情報を相互の関連、詳細情報へのリンク、表記の違い等と共に体系的に整備

研究開発活動のライフライン整備

連携活用システム等の整備

基本情報を中継点として様々な科学技術情報をつなぐためのシステムを整備。

科学技術情報の横断的利用を促進

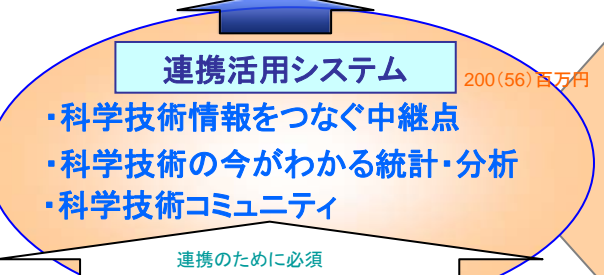
異業種連携や異分野交流促進
知の融合によるイノベーションの加速



ALL JAPANの信頼性・関連性の高い科学技術情報を入手可能

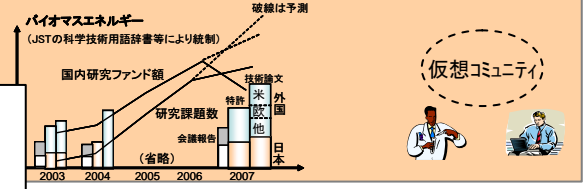
【関連する研究者、研究機関、研究成果(物性、遺伝子等のデータベース)などの情報】

「科学技術情報」「安全・安心」に関する情報をもっと身近に
WEB上の様々な科学技術情報(例) 科学技術ニュース、論文
安全・安心に関する様々な情報(例) 化合物情報、製品安全情報等



新たな知を入手
ALL JAPANの信頼ある科学技術情報(例) NDL、NII、JSTのデータベース等

研究開発動向の「今」が分かる
情報間の関連を可視化



基本情報の整備 ALL JAPANの情報をつなぐためのキーとなる基本的な情報

論文情報	特許情報	研究者情報	研究機関情報	研究課題情報	知財辞書
1,265 (1,100)百万円	112 (109)百万円	256 (256)百万円			98(98)百万円

その他基盤整備等 10(10)百万円

要求のポイント

- 基本情報の整備 研究成果(論文等)の網羅性向上【資料収集費 +69百万、書誌データ作成 +66百万、調査+30百万等】(+168百万)
- 連携活用システム等の整備 データ連携精度の向上、外部連携機能、分析可視化、コミュニティ機能等の付加(+144百万円)

① 基本情報をキーとした情報間の関連付け

【想定利用例】

化粧品として有効活用できるかも！



ニュースサイト等の気になる用語や研究者名などから

エチゼンクラゲ

網を埋めつくす数千匹のエチゼンクラゲの群れに顔を悩ます漁師さんたち

鹿児島半島の西南に位置する美郷町の丹生(にへう)漁港。ここはトラフグ、マゴロ、ハマチ、タイ、サワラなどさまざまな魚に恵まれる。編集歴でも複数の産地場として知られています。そんな丹生漁港も、エチゼンクラゲ被害に顔を悩ませている漁港の一つです。「とくに被害が大きいのは、沖にしかけた定置網や巻引き網。志年の大発生では、一つの網の中に5000匹以上エチゼンクラゲが入ったこともあるんですよ」そう話してくれたのは、丹生漁業共同組合の吉口芳敏さん。吉口さんは昨年、12月の半ばまで船で沖に出ているのですが、今年は10月いっぱいまで船を出すのを止めてしまったと語ります。

上位語

用語
エチゼンクラゲ
(上位語) ハチクラゲ類
(関連語) ..

用語
ハチクラゲ類
(下位語) エチゼンクラゲ
(最近の関連特許) クラゲ由来の..

最近の関連特許

特許
クラゲ由来のコラーゲン..
(関連語) ハチクラゲ類

発明者
出願人

研究者、機関等の所在へ

最近の関連文献

文献の原文へ

関連の詳細等へ
(より専門で詳細な情報など)



関連の詳細等へ
(意外な発見など)



キーとなる基本情報はJSTが蓄積した情報資源とノウハウの結晶

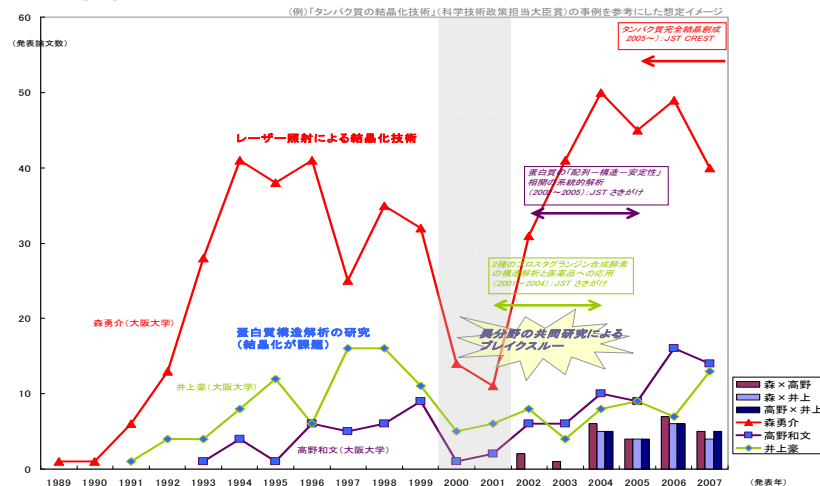


② 情報間の関連や利用動向の分析可視化

【想定利用例】



時系列分析



地域別統計など

